

小学校 第5学年 社会科 学習指導案

横浜市立幸ヶ谷小学校
教諭 宗像 北斗

単元名 これからの食料生産（5時間）

単元の
ねらい

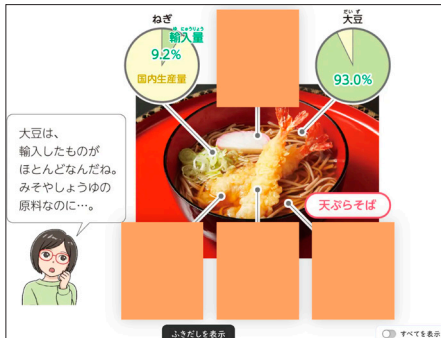
- 我が国の食料生産の概要や、食料生産が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 食料の生産や輸入に見られる課題を把握して、その解決に向けて多角的に考える力、考えたことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 我が国の食料の生産や輸入について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

本時の
ねらい

食料輸入の現状に着目して、これからの食料生産や輸入の進め方についての学習問題をつくり、追究の見通しをもつ。（第1時）

指導時期 9月

本時（第1時）の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	●「指導者用デジタル教科書（教材）」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 1週間ほど前から集めた食品ラベルを見せ合う。 【ア さまざまな食料の輸入の割合】を提示する。	デジタル教科書・教材の活用  ● 学習支援ソフトウェアでラベルを紹介し合ったり、産地に合わせて世界地図に位置づけたりする活動も効果的である。 ●【ア】のめくり紙機能を活用しながらクイズ形式で提示する。  日本では、必要な食料をどのようにして調達しているのだろう。

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	【ウ 日本が食料を輸入している主な相手先】の図や動画を見て、輸入相手先の特徴をとらえる。 【エ 主な食料の生産量の変化】 ④ 主な食料の生産量の変化 【オ 主な食料の自給率の変化】 ④ 主な食料の自給率の変化 【エ】 や 【オ】 のグラフを見ながら、気づいたことや考えたことを伝え合う。 輸入の割合が増えていることに気づき、その理由について考える。 食料の輸入が増えることでの良い点と悪い点について考え伝え合う。	● 持ち寄った食品ラベルと比べながら考えていけるようにする。 ● 食料自給率の意味を確認する。 ● 「p.113エ 操作」「p.113オ 操作」のコンテンツを活用し、「野菜」「果物」「魚・貝類」などの項目ごとに示すことで、わかりやすく生産と輸入を関連付けて考えることができるようにする。
	みんなの過ごす未来… 10年後、20年後、日本の食料生産はどうなっているのだろうね。	● 農業（米づくり）単元、水産業単元で学習した関連する内容を提示し、関連付けて考えることができるようにする。 ● 【エ】【オ】のグラフは右側に続いていくことに目を向け、未来のことを考えていく単元であることを伝える。
	単元の学習問題を見いだす。	
まとめ	国内の食料生産を発展させていくためには、だれがどんなことを大切にしていけばよいのだろう。	

指導者用デジタル教科書（教材）

活用の実例

①資料【ア】をめくり紙機能を活用して提示

Tこの食材の自給率は何%くらいだと思う？

Tどの食材がいちばん自給率が高いと思う？ 近くの人と相談してみてもいいですよ。

③水産業の単元では△△だったから、たらやえびの輸入量は多いんじゃないかな。

③日本で有名なおそばだから、そばの輸入量は少ないんじゃないかな。

②資料【エ】【オ】を、特に傾向がわかりやすい食料を抜粋して提示

③生産量が減ったり自給率が下がったりしていることがよくわかるね。

③これからもっと輸入量は増えていきそうだ。

見えないところを見ようとすることから子どもたちの追初心の高まりを期待できる。これまで、このようなクイズ形式にして導入を図る際、教員は時間と労力をかけて掲示用の資料を作成していた。「指導者用デジタル教科書（教材）」を活用することで授業準備の簡易化にもつなげていきたい。

支援を要する児童は、情報が多いことによって読み取りに困難さを示すことがある。【エ】【オ】の資料について、6つの食料がまとめて載っていると、傾向をつかみにくかったり米のグラフのアップダウンが気になってしまったりすることが予想される。そこで「指導者用デジタル教科書（教材）」を活用し、「野菜」「果物」「魚・貝類」の項目に絞って提示することは、生産量の減少や自給率の低下に気づいたり、生産と輸入を関連付けて考えたりしやすくて手立てとなる。

思考ツールの活用も積極的に行っていききたい（「学習者用デジタル教科書＋デジタル教材」内にも備えられている）。例えばこの授業では、PMIツールを使い、

- （＋）輸入のメリット
- （－）輸入のデメリット
- （これから）未来はどうあるべきか

のようにまとめていくことも学習効果が期待できる。

P (輸入のメリット)	M (輸入のデメリット)	I (これから)
・安い食料が買えるなら… ・	・国内の食料の消費量が減れば、農家の人は困ってしまう。 ・	・ ・